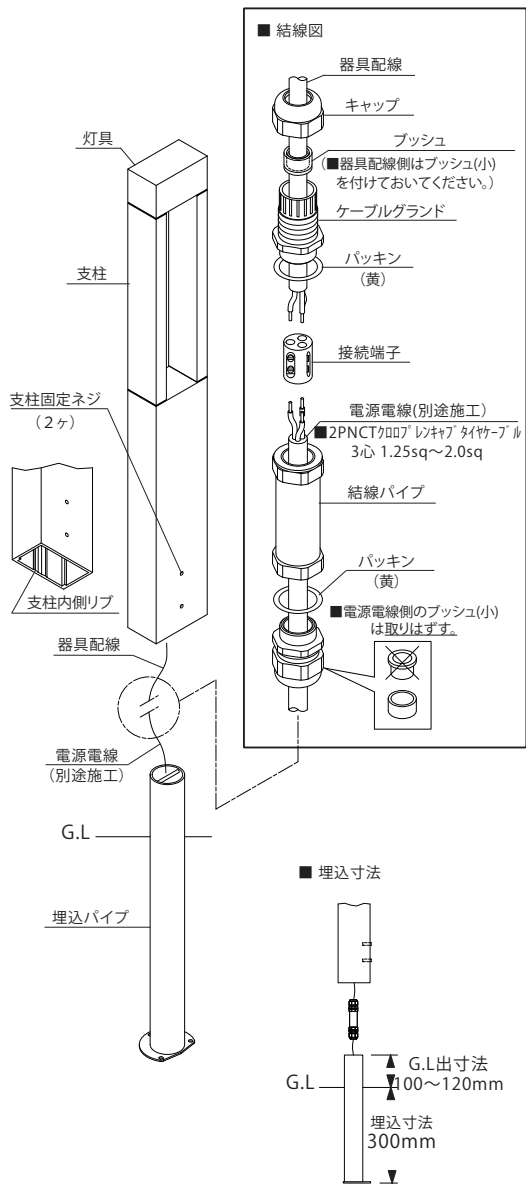


部品名称

取付方法



※ 電源電線(別途施工)を埋込パイプ下部より通し、結線しやすいよう出しておいてください。
 ※ 電源電線は必ず2PNC Tクロロレンキャブタイヤケーブル 3心1.25sq(外形φ10.5mm)~2.0sq(外形φ11.5mm)を使用してください。
 ※ 本器具内での送り配線はできません。

1. 埋込パイプを設置してください。
 コンクリート等でしっかり基礎を固め、約300mm埋め込んでください。G.L.ラインより上に100mm~120mm出るよう施工願います。
2. 電源電線(別途施工)と器具配線を結線します。
 左図「結線図」の通り分解し、器具配線と電源電線を入線し、中にある接続端子で結線してください。
 ・器具配線の緑と黄色のストライプがアース線です。
 ・電源電線側のブッシュは中に入っているブッシュ(小)を取りはずして電源電線を入線してください。
 ※ 電源電線の先を約7mmストリップし、接続端子に入線し、マイナスドライバーで締め付け、確実に固定してください。
 △ 電源電線端は、半田上げおよび棒端子で端末処理を施してください。ヨリ線のまま接続端子に入線すると事故の原因となります。
 ・必ずD種接地工事(第3種接地工事)を行なってください。
 注) 接続端子の入線は1ヶ所に1本です。2本以上入線することは出来ません。事故の原因となります。
3. 結線後、接続端子を結線パイプにもどし、ケーブルグランドキャップをきつく締め付け、確実に防水してください。
 締め付けがゆるいと浸水します。
4. 支柱を埋込パイプにかぶせ、支柱固定ネジ(2ヶ)で確実に支柱を取り付けてください。埋込パイプは支柱内側リブの中央に合わせて差し込んでください。

施工時の注意

- ・ 温度の高くなる場所や湿気が多い場所にはご使用にならないでください。
- ・ LEDは色合いや明るさに多少のバラツキがあります。
- ・ 腐食性ガスの発生するような場所や振動のある場所、海岸隣接地帯で使用した場合、短期間で器具が破損する恐れがあります。
- ・ 埋込パイプはG.L.面と垂直になるよう施工し、器具の傾きがないよう設置してください。
- ・ 電源電線は必ず2PNC Tキャブタイヤケーブル3心1.25sq(外形φ10.5mm)~2.0sq(外形φ11.5mm)を使用してください。
- ・ 灯具に乗ったり、物をのせたり、支柱にもたれたり過度の圧力をかけたりしないでください。器具破損の原因となります。
- ・ 調光(明るさの調節)はできません。

定格表

カタログ番号	色	型番	使用電圧 周波数	入力電流	消費電力	適合ランプ	質量
H4258B	—	B7HG-00B0-1B	100V 50/60Hz		5.2W	LED(3000K)4W	2.8kg

※本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。 1501A

取扱説明書

お客様へ

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買上げくださり誠にありがとうございます。ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。必ず保管してください。

目次

- 1 ページ : 照明器具取付(施工)についての安全上のご注意
- 2 ページ : 照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 3 ページ : 保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ
- 4 ページ : 部品名称、取付方法、定格表

保管用

取込No. B3H257A1

ご不明な点がありましたら販売店にご相談ください。

照明器具取付(施工)についての安全上のご注意

警告



火災のおそれがあります

- ◇ 電気工事は電気設備技術基準にしたがって確実に行ってください。
- ◇ 電源接続の際は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇ 電源配線はランプ表面にふれないように取付けてください。

落下・転倒によるけがのおそれがあります

- ◇ 取付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇ 埋設器具の取付けは取付部の強度を確認し、質量・風圧力に耐えられるように確実に行ってください。強度が不足している場合は補強工事をしてから取付けてください。

感電のおそれがあります

- ◇ アース工事が必要な器具は電気設備技術基準にしたがって確実に行ってください。
- ◇ 工事が完了するまでは必ず電源を切っておいてください。



火災のおそれがあります

- ◇ 器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。





注意

- ◇ 電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇ この器具は屋外使用器具ですが、風呂場等の湿気が多い場所では使用できません。感電・火災の原因となります。
- ◇ 器具に表示された定格電圧以外の電圧で使用しないでください。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。
- ◇ 調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。火災の原因となります。
- ◇ 取付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具転倒・落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇ グローブ、セードの着脱は両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。
- ◇ 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。不点灯、ランプ短寿命、落下の原因となることがあります。

お願い

電気工事店様へ
 工事が終わりましたらこの取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告	
	火災のおそれがあります ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
	感電・火災のおそれがあります ◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。 ◇器具及び部品の改造をしないでください。
	感電・火災のおそれがあります ◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする等)には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。
	感電のおそれがあります ◇器具のお手入れの際には必ず電源を切ってください。 

⚠ 注 意

- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
- ◇周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を、回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇グローブ、セードの着脱は両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。落下によるけがの原因となります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。
 - ・器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。

お 願 い

- ・点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。
- ・ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。
- ・器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりにしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたらやわらかい布で仕上げてください。

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、保管しておいてください。

保守とお手入れについて

- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入っているか?
 - ・ランプが切れていないか?
- 器具がよこれた場合は水でしめらせたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。金属みがき・サンドペーパー等は器具をいためます。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。
- 器具に殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質・変色の原因になります。
- お手入れの際には必ず電源を切ってください。感電の危険があります。異常時(煙が出たり、変な臭いがする等)には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。
- 明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。



アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売所・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  **0570-550-575**
(全国共通番号)

受付時間(土日祝を除く) 10:00~17:00

通話料はお客様の負担となります
PHSからは接続できません

<http://www.yamagiwa.co.jp/>